

★学校教育目標	◎学び考えを深める子 ○思いやりの心もち行動できる子 ○がんばりぬく子 ○身体をきたえる子	★重点計画の概要 日野市第4次学校教育基本構想の理念を踏まえ、子供たち自らが「すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来をつつていく力」を育ていけることを目指し、人間尊重の精神を基調に、心身ともに健康で、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応する生きる力を育む教育を推進する。
★目指す学校像（ビジョン）		
【目指す児童・生徒像】	自他を認め、思いやりの心を持って他者と接し、心身ともに健康で、進んで学ぶ意欲とたくましく生きる力を育む児童	
【目指す学校像】	児童も教職員も学び続ける学校	
【目指す教師像】	児童の笑顔と未来のために、教育の専門職としての自覚をもち、自ら学び続け、子供とともに成長する教師	

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準				学校評議員・学校運営協議会の意見	結果の分析と改善策
				評価点	取組指標		評価点		
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	主体的・対話的で深い学びの具現化に向けた自分に合った多様な学びの創造	探究的な学びを取り入れた授業を充実させ、思考力・判断力・表現力を育成し、それらを活用・発展させる実践力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校図書司書と教員の連携及び学校図書館の情報センター、学習センターとしての機能を活かし、ICTとの両輪で児童の課題解決力・論理的思考力の育成に努める。 ◆ICTを活用しながら児童の学びを主体的に情報発信させる。 ◆教員が、児童自らの課題解決を後押しする指導法を身に付ける。 	2	4 全ての教員が計画通りに実施している。	2	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室前に、最近の学習内容をまとめたレポート（デフリンピックについてなど）を見たり出したり、廊下に学習関連の物がたくさんあったりと、今学習してるものが何かがよくわかり、子どもたちの学習意欲も高められていると感じる。 	「学校の勉強を理解しています」の質問に92%、「学習者用端末を使って学習します」の質問に87%、「何事にも諦めないで最後まで頑張ろうとしています」の質問に91%の児童が肯定的な評価をしている。探究的な学習を全校的に取り組んでいるので、引き続き協力的・対話的な学びを進めていく。
					3 90%以上の教員が計画通りに実施している。		3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。		
2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。								
1 計画通りに実施した教員が80%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が80%未満である。								
心身ともに健康でたくましく生きる力を育む	体力向上および食育推進の取組を通して、児童がたくましく生きるための知恵や体力を育て、生涯スポーツの基盤をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ◆体育の授業を充実させ、児童の持久力向上に努める。 ◆体カテストや六小ラン、なわとび週間等の取組を通して、身体を動かす楽しさ心地よさを味わわせ、子供の基礎体力を高める取り組みを行う。 ◆学校医や学校薬剤師、保護者と連携し、学校全体の健康教育の啓発と充実を努める。 ◆児童が心の健康を保てるために、保護者と連携して児童理解を図る。 	3	4 全ての教員が計画通りに実施している。	2	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会を参観したが、どの子も楽しそうに参加していて、児童が体を動かすことを楽しんでいることが伺えた。計画的な取組の成果の表われだと思った。 ・近年、子どもたちの体力が落ちてきているため、体力向上を図るためにさまざまな取り組みをしている。昼・中休みなどの学年でも校庭等で遊べるようにしているのは、とてもよい取り組みだと思う。 	「学校の給食は、好き嫌いせずに食べていますか」の質問に83%、「体育の時間や休み時間は、元気に遊んだり運動しています」の質問に88%の児童が肯定的な評価をしている。体力向上は本校の課題の一つでもあるので、身体を動かす場面の意図的な設定を行っていく。	
				3 90%以上の教員が計画通りに実施している。		3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。			
2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。								
1 計画通りに実施した教員が80%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が80%未満である。								
みんなの多様な学びとあわせをつくる	思いやりの心もち、豊かな社会性のある児童の育成	自他を認め、思いやりの心をもって他者に接することのできる児童を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童が自分を発揮し、互いに自己の存在感を認め合える学校・学年・学級経営を行う。 ◆学校行事や委員会、係活動、たてわり班活動、集会活動等を通して、あいさつの励行と笑顔あふれる学校の具現化を図る。 ◆校内委員会を核とし、個々の児童の教育的ニーズを考慮して、課題を解決する。 	3	4 全ての教員が計画通りに実施している。	3	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動に取り組んでいて、先生方も率先してあいさつをしてくださるが、あいさつをする子供、しない子供の二極化が進んでいるとのこと。聴かしいなど、その子どもたちの理由があるかもしれないが、あいさつの大切さは知ってもらいたいと思う。引き続き励行に取り組んでいただきたい。 	「友達を思いやり、仲良く遊ぶことができている」の質問に96%、「おはよう、ありがとう、等の挨拶を自分からしています」の質問に91%、「気持ちの良い言葉遣いをしています」の質問に87%の児童が肯定的な評価をしている。挨拶や言葉遣いはコミュニケーションの基盤となるため、今後も指導を継続していく。
					3 90%以上の教員が計画通りに実施している。		3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。		
2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。								
1 計画通りに実施した教員が80%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が85%未満である。								
すべての“いのち”を守り、育むための取組の充実	子供の安全・安心を守る組織的なサポート体制を構築し、生活指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ◆防災教育や栽培活動等、教育活動全体を通して、自他のいのちを尊重する取組を実施する。 ◆学校いじめ防止基本方針に則り、いじめ対策委員会を中心に、いじめ防止の取組を徹底する。 ◆スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、保護者、外部機関等と連携し、組織的に、いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期解決を図る。 	4	4 全ての教員が計画通りに実施している。	3	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が他者に心ない言葉を発したことで、板長先生がすぐに朝会で指導するなど、道徳の授業だけでなく、普段の学校生活の中で他者に対する思いやりの心を育てている。 ・避難訓練の様子を参観したが、教師の指示が体に入っているようで、いつ本当に災害があっても、スムーズに避難できそうだった。 	「自分の命は自分で守ることに気を付けています」の質問に96%「安全に気を付けて登下校しています」の質問に95%の児童が公的的な評価をしている。災害や交通安全以外にも、SOSの出し方に関する教育等場面に応じた安全でいられるための指導を意図的に計画的に実施していく。	
				3 90%以上の教員が計画通りに実施している。		3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。			
2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。								
1 計画通りに実施した教員が80%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が85%未満である。								
家庭・地域・社会と協働した教育活動の推進	PTA・地域支援本部・社会教育センター・地域人材などを活用し、豊かな体験活動や学校環境整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校運営協議会、保護者会、道徳授業地区公開講座、学校行事の意見交換や情報交換、アンケートを教育活動の改善に活かす。 ◆地域を学びのフィールドにした学習活動の充実を図る。 ◆家庭訪問・個人面談等において保護者と連携し、一人一人を大切に教育活動を推進する。 ◆教育活動への保護者の協力を積極的に活用する。 	3	4 全ての教員が計画通りに実施している。	3	4 保護者アンケートで95%以上の保護者が肯定的な評価をしている。	学校運営連絡協議会で、授業参観をしてから皆で協議するのは、学校の現状も分かりとてもよいと思う。その中から、六小の課題や目指すべきことも見えてくると思う。	「学校は、家庭・地域と連携し、指導の充実を図っている」の質問に91%、「学校はPTAや地域人材を活用し、体験活動や学校環境整備を行っている」の質問に89%の保護者が肯定的な評価をしている。今後も引き続き、地域や保護者と連携し、体験活動に注力するとともに活動したことを発信するようにしていく。	
				3 90%以上の教員が計画通りに実施している。		3 保護者アンケートで90%以上の保護者が肯定的な評価をしている。			
2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	2 保護者アンケートで80%以上の保護者が肯定的な評価をしている。								
1 計画通りに実施した教員が80%未満である。	1 保護者アンケートで肯定的な評価をしている保護者が80%未満である。								
社会と未来に開き、みんなで作る	持続可能な社会をつくる一人としての自覚と行動力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ◆SDGsの理念を活用し、持続可能な社会をつくる一人としての自覚と行動力を育む取組を実施する。 ◆地域の教育資源の開発を行い学習に活かす。 ◆子供発信の学習・取り組みを具現化する。 ◆60周年記念に係る行事を通して学校や地域に対して目を向け社会の一員としての意識を育む。 	2	4 全ての教員が計画通りに実施している。	3	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・60周年記念行事を通して、子どもたちも広山の歴史を学びながら、多くの人々や地域との関わりを感じられたと思う。そして、その歴史をまたつないでいこうという気持ちを強くしたと思う。 	「調べたり、まとめたりする学習でよく考えたり、習ったことを生かしたりしています」の質問に91%、「地域での学習は楽しかったですか」の質問に90%、5%の児童が肯定的な評価をしている。児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向け今後も探究に値する課題を設定し、学習活動をアップデートしていく。	
				3 90%以上の教員が計画通りに実施している。		3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。			
2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。								
1 計画通りに実施した教員が80%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が80%未満である。								

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。